

# 関東大震災から100年

日本赤十字社埼玉県支部は常に災害に備えています



1923年9月1日、関東大震災(マグニチュード7.9)が発生し、死者・負傷者はそれぞれ約10万人、行方不明者は約4万人に及びました。日本赤十字社も本社建物を焼失しましたが、臨時救護所など193か所、医師、看護師等4,466人による大規模な救護活動を実施しました。

## 「自助」・「共助」・「公助」を高める赤十字の活動

～災害で苦しんでいる人を救うために～

### 災害救護活動・被災者支援

災害が発生した際、救援物資を配付するなど迅速に活動します。平時では、いつ起こるか分からない災害に備えて訓練を実施しています。



救護班要員研修



他県の赤十字支部と合同訓練



救援物資の配付



奉仕団の炊き出し訓練

### 救急法等の講習・防災教育

身近な人を救うための講習や、災害時の「自助」「共助」の力を高めるために防災教育事業を実施しています。



救急法講習



イベント会場での体験



防災セミナーの開催



青少年への防災教育

こうした活動は皆さまからのご寄付によって成り立っています。

赤十字活動資金へのご協力をお願いいたします。



日本赤十字社 埼玉県支部  
Japanese Red Cross Society

赤十字運動月間 5月1日～31日



## 被災者への救援物資の配付 令和3年度 配付実績

平時から市区町村へ配備し、火災・洪水などの災害時に被災者へお配りしています。



布団  
セット

283セット



毛布

261枚



生活用品  
セット

164セット

## 市区町村への災害救護資機材の配備

地域の防災力の向上を目指して、市区町村に救護資機材や救援車両を配備しています。

救援車両



ポータブル蓄電池・  
ソーラーパネルセット



LP ガス発電機・  
コードリールセット



手回し充電式防災ラジオ



移動炊飯器



自動ラップ式簡易トイレ



これからも、ご支援のほどよろしくお願いたします。

